

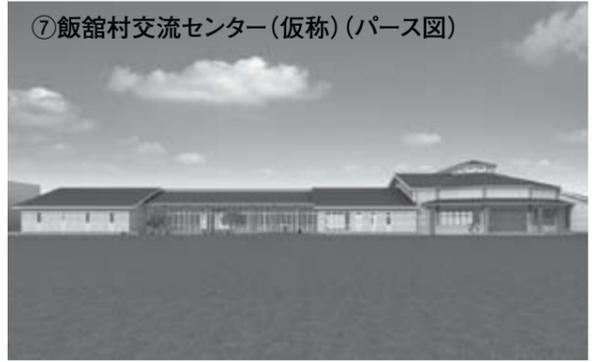


深谷地区に整備される村内復興拠点エリアの現在のようすです。二期工事を行うエリアのうち、太陽光発電施設の建設予定地から造成工事が始まり、今後、まぐい館、住宅エリアと順に整備される予定です。道の駅「まぐい館」は平成29年3月の完成を目指して建設準備が進められています。村内復興拠点エリアの造成工事には、前号でお知らせしたとおり、国が福島・相馬間で建設している「相馬福島道路」の発生土砂が使われています。

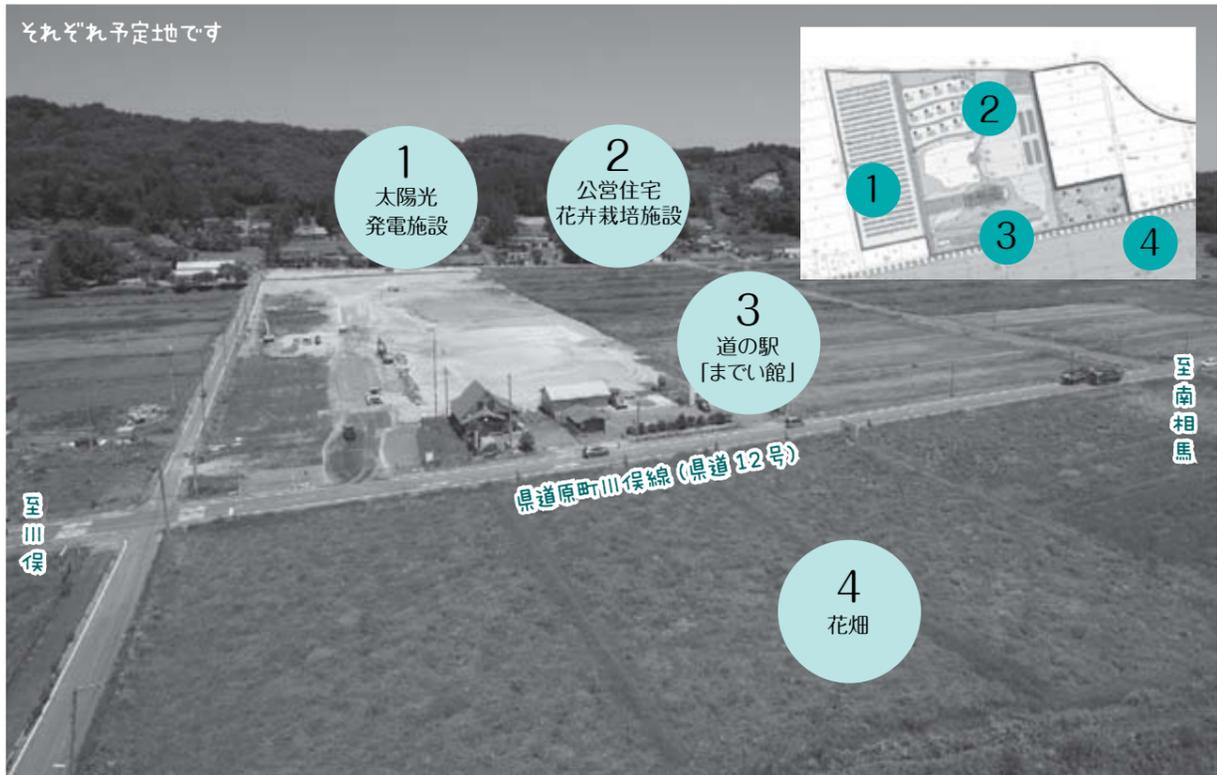
- ① 造成工事が進む太陽光発電施設の建設予定地。この冬には太陽光パネルの設置が完了する予定です。
- ② 公営住宅や花卉栽培施設、公園などを建設する予定地です。
- ③ 村内外の人が交流する道の駅「まぐい館」が建設されます。「まぐい館」は村の産業おこしや情報発信の拠点としての役割も担います。
- ④ 県道12号線をはさんで向かい側には花畑が作られる予定です。



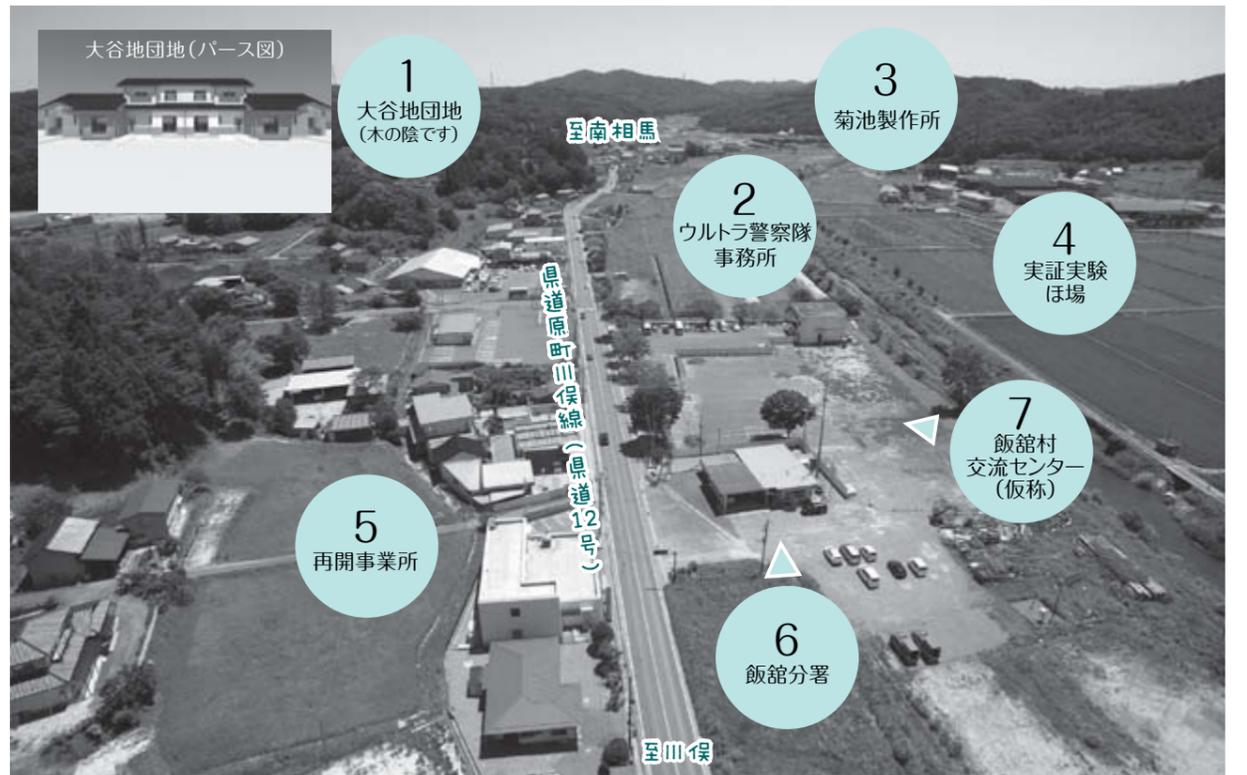
⑥ 飯館分署 (パース図)



⑦ 飯館村交流センター(仮称) (パース図)



深谷地区村内復興拠点エリア



草野太子堂地区から

少しずつ目に見えて進んでいるね。他にも大火山で太陽光発電所の建設が進んでいるし、「きこり」の補修工事も行われます。これからも随時、村内事業の進み具合をお知らせしますね。



森林組合も 村内で再開

◀ 深谷地区にある「杜の駅まごころ」の建物に事務所を移転。業務を村内で再開しました

7月31日、旧「Aコープ」で、セブンイレブンが営業を開始しました ▶

コンビニ開業

- ① 8戸を建設予定の大谷地団地。
- ② 村内パトロールや仮設訪問を行うウルトラ警察隊の事務所。
- ③ 避難が長引く中、村内で操業を継続する菊池製作所。
- ④ 実証実験を行うほ場。
- ⑤ J A、あぶくま信用金庫、ガソリンスタンドなど、再開している事業所の多いエリアです。
- ⑥ 建て替える飯館分署。
- ⑦ 完成後の利用を楽しみに待つ声ですぐに聞こえています。飯館村交流センター(仮称)

避難指示解除を想定した村内の再整備には、一定の期間を要するため、先を見越した事業の展開が必要です。施設等の建て替え工事の中にはすでに着工したものもあります。旧公民館跡地では「飯館村交流センター(仮称)」の建設が始まりました。隣接する南相馬消防署飯館分署の建て替え工事も行われます。その南側の草野向押地区では、今年も米の作付の実証実験が行われています。